

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム はるや
日付	平成18年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>玄関には、入居者が植えたプランターの花が、玄関先から、グループホームや、入居者を明るく見守っているシチュエーションがありました。台所と食堂や居間が別になっていて、死角ができていない短所もありますが、既存の建物を生かしながら、職員が声をかけあって常に入居者の近くに居ることで解消しています。そのようなことから、ほのぼのとした暖かさを感じ、介護度が高い入居者に対しても、職員間での話し合いをしっかりと行って寝たきりにならないように暖かさを伝えていました。他のグループホームとも交流があります。比較的近くにある2施設と運動会や劇に一緒に参加しています。1~2時間程度ですが、入居者にも好評で、また職員にとっても情報交換の場であり、有意義な時間となって、暖かさの原動力となっています。</p> <p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>医師より食事制限の指示が出ている入居者には、おやつを少し控えてもらっています。今は入居者全員でおやつを食べる回数や量に注意を払っていますが、少しストレスを溜めている傾向になっているのではと感じました。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答)		
記述回答	「自分の思いや意志を大切にされ、自己決定が出来る生活、自分らしさや誇りを保った暮らしの中で、個性を見出し自信と自立を高める生活、自然で穏やかで、安らぎのある生活、安全かつ衛生的で健康を守られる生活、家族や大切な人との通信や交流の自由が保たれ個人情報が守られる生活」を理念としています。まずは理念への一歩と踏み出すために、ケアに重点を置いています。居間のレベルを落とさないことを考え、自分のことはできるだけ自分でしていただいています。また作業療法士によるリハビリもしています。入居者には、自分の好きなことで楽しんでいただくよう考えています。レクリエーションより趣味などを中心としています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答)		
記述回答	寄り添い、話を聞くことで入居者の考えを把握し、少しでもやりたいことをしていただくように思っています。帰宅願望が出て来ると、一度、外出することで気分転換を図っています。玄関は、日中開放しストレスが溜まらないようにしています。自分の役割を理解し、居場所を見つけていただくように配慮しています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答)		
記述回答	居室にほかの入居者が入らないように気を使い、部屋でくつろげるように取り組んでいます。入居者一人ひとり生活リズムを大切に、出来る限り添えるように努力しています。また、得意な事を自ら率先して出来るように、家事を手伝っていただいたり、漁師をやらされていた男性には魚を下ろしてもらったりしています。家事が嫌いな女性には縫物や編物、お茶を点てることを通して楽しめるように配慮し、生活リズムの安定を図っていました。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	入居者の介護度が次第に高くなって、自分ひとりでは、なかなか出来ない入居者も増えてきています。職員は少しでも自分の事が独りでできるように、日中はトイレまで連れて行き、排泄をしてもらっています。また、居室で転倒し骨折した事もありました。すぐにセンサーマットを購入し、対応しています。接遇や救命にも力を入れたり、定期的な講習会を開催したり、職員間で気軽に話し合いをすることで、理念に近づけています。		